

これらの防災資機材は令和元年度環境整備事業で設置したまち協倉庫に整理保管しました。
 総事業費：2,818,614 円
 都城市地域活性化事業補助金：2,817,000 円
 庄内地区まちづくり協議会負担金：1,614 円



発電機 2.5KVA 5台



移動ガスかまど鍋セット 2台

第3期都城市地域活性化事業が始まります

庄内地区は第2期の平成29年度～令和2年度に11の地域活性化事業に取り組みました。令和3年度から第3期となる都城市地域活性化事業が予算化され、都城市内15地区すべてでこの事業に取り組むことになりました。令和3年度から令和6年度までの4年間にそれぞれの地区で約1,000万円の事業を行うことができます。これから検討会議を設置し、活性化事業の協議をしていく予定ですが、皆様で良いアイデアがありましたら事務局までお寄せください。
 ※平成29年度～令和2年度の「庄内地区地域活性化事業報告書」をホームページに掲載しております。

今年も関之尾滝ライトアップを実施します

関之尾滝ライトアップは以前から庄内地区有志により実施されていたものを、平成23年より庄内地区まちづくり協議会地域づくり部会が引き継ぎ、実施しています。夏休みの期間中、地域内外の多くの人に見て頂き、自然の雄大さを実感し、幽玄な世界を満喫していただくことを目的としております。下記の日程で点灯します。

点灯期間：令和3年7月25日（日）～8月28日（土）毎日、日没～21時

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町 12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなでつくる 住みよいまち 庄内 庄内地区まちづくり協議会だより



令和3年7月発行 VOL.23

令和3年度の庄内地区まちづくり協議会役員体制

令和3年4月14日（水）の第1回運営委員会で、令和3年度庄内地区まちづくり協議会定期総会は、書面表決と決まりました。4月30日（金）に6名の役員・理事で集計の結果、第1号議案～第6号議案すべてが承認されました。新年度の役員体制は下記の通りです。

会長	徳留 次男
副会長	今村 壮二
々	前田 和憲
監事	馬籠 恵子
々	鮫島 アイ子

以上総会承認

会長委嘱

顧問	釘村 美千也
事務局長	朝倉 脩二

自治公民館活動部会長	前田 和憲
// 副部会長	新地 幸三郎
地域づくり部会長	
// 副部会長	
// 幹事	
教育文化活動部会長	
// 副部会長	
健康福祉部会長	
// 副部会長	
環境整備部会長	
// 副部会長	

各部会で決定します。

今年度各イベント等の日程が決まりました

第6回庄内地区スカットボール大会	時期未定
第22回庄内地区スポ・レク大会	令和3年10月10日（日）
第36回庄内ふるさと祭り	令和3年11月6日（土）～7日（日）
第27回庄内川一周YOU遊駅伝大会	令和3年12月5日（日）

※いずれも新型コロナウイルスの感染状況によっては変更の可能性があります。

「地域学校協働活動」推進に係る県教育長表彰を受けました

表彰の趣旨

地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の参画により、未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その取組が特に優れ、他の模範と認められる個人及び団体に対し、その功績をたたえ教育長が表彰を行う。

庄内地区地域学校協働本部

庄内地区の小中学校と地域との協働活動の架け橋となる組織である。地域学校協働本部を中心に地域と学校が協働して、郷土料理づくり学習、中学生の補習、高校受験面接指導、もちつき大会、防災訓練、成人式など多分野にわたる協働活動を毎年実践している。複数の学校と地域との協働活動の調整役を行う活動を長期間行い、地区全域の地域コミュニティが大いに活性化した。また、都城市において、他地区の良い手本となっている。

令和2年度は4個人・5団体が表彰されました。令和3年1月12日付、表彰式はコロナ感染拡大のため実施されませんでした。



庄内地区一斉野焼きを行いました

令和3年2月7日実施。今年度は乙房自治公民館、平田自治公民館、川崎自治公民館のみ実施しました。前日雨が降りましたが、幸い当日は晴れて実施することができました。

13:00より開始し、消防団の協力により事故なく終了することができました。

終了時刻：川崎 14:30、平田 15:00、乙房 15:30。



第4回庄内地区子どもの声を聞く会の作文集をつくりました

第4回庄内地区子どもの声を聞く会は、新型コロナウイルス感染の影響により開催できませんでしたが、発表予定の児童・生徒の皆さんの作文集を、庄内地区青少年育成協議会事務局（乙房小）に作って頂きましたのでホームページに掲載します。

庄内地区を大切に思い、将来のことまで考えてくれている素晴らしい意見ばかりです。是非お読みください。以下の方々が作文を書いた皆さんです。（学年は令和3年3月時点）

「地域のために自分にできること」庄内中学校2年 久保慎之介

「庄内のSDGsとは」庄内中学校1年 多田康士朗

「修学旅行で学んだこと」菓子野小学校6年 村永あやね

「ふるさとを知ろう」庄内小学校6年 松浦茜

「魅力あふれる乙房地区」乙房小学校6年 時任紗楓

<https://www.bonchi.jp/shonai/docu/kodomo2021.pdf>

庄内中3年生がお礼にきてくれました

庄内地区まちづくり協議会では毎年、庄内中学校3年生の高校受験面接練習の支援をしています。5名の方が1月22日から2月26日まで数回ずつ試験官役をしました。

個人面接や集団面接など志望校に応じて練習し、良かった点や気を付けることなどを指導しました。最初緊張していた生徒たちも、練習でどんどん良くなっていくのが頼もしかったです。

卒業式の前日（3月15日）5名の生徒がお礼の文集を持ってお礼にきてくれました。それぞれ次の目標に向かって進んで行ってくれることを期待しています。

お礼の文集より

「面接練習を手伝ってくださりありがとうございました。とても緊張していましたが、練習していくうちに、どんどん慣れていくことができ、本番もしっかり受け答えできて良かったです。」

「面接の練習の時など様々な場面で大変お世話になりました。本当にありがとうございました。これからも庄内を大切に生活したいと思います。」



旧みそのくち精肉店をリノベーションしました

庄内町に旧みそのくち精肉店をリノベーションした、コミュニティスペース「みーとん」が令和3年4月にオープンしました。令和元年9月から5回にわたり「宮崎ひなた生活圏づくり」地域ワークショップ（参加者延べ149名）を庄内地区で開催しました。5チームに分かれ将来の人口予測をもとに地域の課題やその解決策を考えましたが、各チームとも「子供から高齢者までいつでも心の触れ合いができる交流の場所・機会をつくりたい」という結果になりました。

そこで令和2年度は「宮崎ひなた生活圏づくり」地域課題解決支援事業補助金に応募し、庄内地区まちづくり協議会、都城高専建築学科杉本研究室、NPO法人手仕事舎そうあいの協働により整備したものです。

特に都城高専建築学科の学生さんたちが、解体作業、内装作業、家具づくりなど手伝ってくれました。「みんなどつくる」をキーワードに地域の子どもたちもウッドデッキ作りやペンキ塗りに挑戦しました。

内部はインターネットWifiや大型ディスプレイ、ホワイトボードなどを備えた仕事場としても使えるワークスペースやフリースペース、各種電動工具が自由に使えるDIYスペースなどがあります。月に1~2回は都城高専の学生が教える子ども向けの工作教室も開催しています。

令和3年度は同じく「宮崎ひなた生活圏づくり」地域課題解決支援事業補助金により乙房町の旧ながやまミートショップ跡に交流拠点を整備する予定です。

総事業費：3,049,801円

都城市「宮崎ひなた生活圏づくり」地域課題解決支援事業補助金：3,000,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：49,795円



コワーキングスペース



ウッドデッキと入口

令和2年度地域活性化事業について

① 有害鳥獣対策事業

本事業は平成30年度から3年間の継続事業として、囲い罠及びくくり罠を購入し、平成30年12月より関之尾自治公民館の捕獲班（5名）に貸与し実施してきました。令和2年12月には東区自治公民館内でイノシシが民家の庭先まで出没しましたので猟友会の協力を得て、まち協の囲い罠を設置したところ30kg程度のイノシシ1頭を捕獲できました。事業開始から令和3年2月28日までの捕獲数はイノシシ23頭、シカ2頭です。本年度事業ではくくり罠の補修・交換部品を購入しました。

総事業費：188,005円

都城市地域活性化事業補助金：187,000円

庄内地区まちづくり協議会負担金：1,005円



5頭同時捕獲（関之尾町）



東区で捕獲

② 防災対策環境整備事業

令和元年度庄内地区で実施した都城市総合防災訓練をきっかけに防災意識が高まり、特に災害発生の初期においては住民みずから行動を起こすことの大切さを共通認識しました。

本事業で初期救助支援用にヘルメット、担架、リヤカーを整備しました。災害対策本部立ち上げ用には発電機、照明器具などを、避難所運営支援用に炊き出し用鍋、発電機、照明器具、ブルーシートなどを整備しました。